



「教育実践研究の成果」の数々を公開中  
教職大学院ホームページにてご覧いただけます!

<https://www.edu.iwate-u.ac.jp/master/>

岩手大学大学院教育学研究科研究年報  
オンラインISSN 2432-924X

第3巻 (特集論文8編、論文13編、計21編を収録)

岩手の教育課題に関する論文の特集を  
常設しました!

- 森本 晋也, 越野 修三, 蒔苗 仁, 鈴木 智香, 小松山 浩樹 (2019): 防災教育教材の開発と教員研修の充実に向けて: 連携・協働による岩手県防災教育研修会の取組を通して
- 金野 浩二, 山本 奨, 大谷 哲弘: ほめられたと思いきい子供はどのように支援するとほめられたと思うのか?

他19編

問合せ: 岩手大学教育学部 〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18番33号 TEL.019-621-6504 FAX.019-621-6600  
E-mail [edujim@iwate-u.ac.jp](mailto:edujim@iwate-u.ac.jp) URL <https://www.edu.iwate-u.ac.jp/master/>

この冊子はグリーン購入法に基づき基本方針の判断基準を満たす用紙を使用しています。



## 授業力開発実習での学びと手応え

教職大学院では、**スクールリーダー**と**即戦力の新入教員**の養成を目指し学修が進められています。

本号では、9月の「学校マネジメント力開発実習」と11月の「授業力・子ども支援力開発実習」の様子についてご紹介します。



### 「学校マネジメント力開発実習」を終えて

〔現職院生(M2)〕木村 洋

教育行政の仕組みや役割を体験的に理解することを目的に実習が行われました。宮古教育事務所管内では、若手教員の人材育成や学校統廃合問題、震災未経験児童への支援等の教育課題があることを改めて知ることができました。「学びの場の復興」と「人づくり」に向けて、自分に何ができるのかを真剣に考え、実践していきたいと思えます。

### 「授業力・子ども支援力開発実習」を終えて

〔学卒院生(M2)〕村上 貴史

私は、ネット型ボール運動で身につけさせる力を明確化するための研究をしています。緑が丘小学校での実践を基に、授業の手立てが有効であったかを客観的に考察し、現場で誰もが活用できる手立てへと一般化させていきたいです。また、この実践と理論的な考察を往還する経験を、現場で活かせるように今後も学び続けていきたいと思えます。



## 教職大学院の日々

理論と実践という両輪。その一方を担う多様かつ深い内容を取り扱う科目。現職院生と学卒院生が席を交え、論を交えます。

### 講義「ICT活用教育の実践と課題」を受講して

〔学卒院生(M1)〕生平 駆

「ICT活用教育の実践と課題」の授業は、最新の社会情勢及び関連する教育改革の動向を理解し、新しい「教育の情報化」に対応できる教員を目指し、能力形成を図ることをねらいとしています。先日の講義でも教科指導におけるICT活用方法や情報活用能力について学びました。学校現場での実践を常に考え、今後も学びたいです。

### 講義「いわての復興教育の実践と課題」を受講して

〔現職院生(M1)〕板井 直之

「復興教育」とおとした人材育成は、岩手の教育の重点項目となっています。頻発している災害を自分事として捉え考える態度、防災教育の在り方と充実、副読本の有効活用等、「復興教育」の教育的価値と効果的な実践の在り方を、今一度見つめ直し、「岩手だからこそできる復興教育・人材育成」を追求していきたいと考えています。

## 教員メッセージ

実務家教員 東 信之



特別支援教育担当実務家教員として四年目を迎えました。

今、まさに特別支援教育は、インクルーシブ教育の推進や合理的配慮の提供など、すべての校種、すべての学級においても必要とされています。発達障がいのある児童生徒の増加や、新学習指導要領における各教科、各教科等を合わせた指導の評価等様々な課題を抱えながら、従来行ってきた特別支援教育について、今という時代に即して、俯瞰し、客観的に思考し、実践を再構築、再確認する時代に入りました。

教職大学院では、学卒院生、現職院生が現実に向き合い、それぞれの課題意識を持ち、お互いが意見を出し合い、実際の現場で生かされる実践と様々な理論の往還を通し、学修を進めています。一人一人の教職大学院での学びが、これからの特別支援教育において広く発信されていくことを期待しています。

## 住田町学校公開

令和元年11月28日



文部科学省研究開発学校指定として、住田町が取り組む新たな教科、「地域創造学」の公開研究会に院生全員で参加しました。

小・中・高校の滑らかな接続を生かして、「社会的実践力」を育成するための教育課程、指導方法及び評価方法の在り方について学びました。

### 小・中・高が一体となる教育

〔現職院生(M2)〕高橋 健

教職大学院では、様々な学校公開研究会に参加する機会を得ています。住田町での公開では、小・中・高が一体となって町の子どもたちを育成することがテーマでした。地域では人口減少がますます進んでいます。我々教員は、地域を創る人材を育てることが求められていると改めて考える研究会になりました。

### 地域の特色を学ぶ教育に触れて

〔学卒院生(M2)〕中軽米 璃輝

住田町の学校公開に参加し、住田町で取り組んでいる「地域創造学」の授業を参観しました。子どもたちが自分たちの住んでいる地域の特色を知り、より地域の魅力を高めるためにどんな事が出来るかを考え、提案する姿が印象的でした。子どもたちが地域から学び、社会の担い手として成長してける教育が出来るように今後も学ぶ決意を新たにしました。